

報道関係各位

2021年7月19日  
株式会社 LIXIL

## 社会的責任投資の代表指数「FTSE4 Good Index Series」および「MSCI 日本株女性活躍指数」の構成銘柄に5年連続で選定

「ガバナンス」と「ダイバーシティ&インクルージョン」において高い評価を獲得

株式会社 LIXIL（以下、LIXIL）は、社会的責任投資（SRI）の代表指数である「FTSE4 Good Index Series」および性別多様性の分野で優れた取り組みを行っている日本企業を対象とした「MSCI 日本株女性活躍指数」の構成銘柄に5年連続で選定されました。特に、「ガバナンス」および「ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）」の分野について、住宅設備・建材業界をリードするESG先進企業の一員といえる高い評価を獲得しました。



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan

2021 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

[FTSE4Good Index Series](#) は、ESG（環境・社会・ガバナンス）の分野で優れた取り組みを実践する企業で構成される株価指数です。透明性の高い管理手法と明確に定義されたESG基準を採用しており、ESGに注目する多様な市場参加者が、投資判断などの重要な基準として活用しています。ESGの3分野それぞれに関して、独立委員会のメンバーが300以上の項目を分析し、企業のリスクレベルや実績を評価しています。さらにLIXILは、日本株を対象とした「FTSE Blossom Japan Index」<sup>※1</sup>にも選定されています。当社では、サステナビリティの向上に向けた取り組みの強化を推進しており、特に「ガバナンス」と「人権とコミュニティ」の分野では最高スコアを獲得しました。

[MSCI 日本株女性活躍指数](#) は、従業員のジェンダー多様性を推進・維持することにより、人材不足に対するリスクを低減し、持続可能な成長が見込める企業が構成銘柄として選定されています。LIXILでは、さまざまなスキルセットを持つ女性従業員を役員や管理職に登用するなど、女性の経営参加を促進しています。さらに、インクルージョンの実現と顧客志向への転換を目指した取り組みが評価され、全体で昨年のスコアを上回る結果を得ることができました。

LIXILのChief People Officerで、コーポレート・レスポンシビリティを統括するJin Montesanoは次のようにコメントしています。

「LIXILが5年連続でこれらの主要指標の構成銘柄に選定されたことは、ESGのすべての分野における取り組みをさらに前進させてきた証だと言えます。昨年度は、ガバナンスの強化やD&I戦略の更新など大きな前進を遂げたのに加え、衛生環境の改善に向けて、最も必要としているコミュニティへSATOブランドの製品を提供するとともに、環境ビジョンの実現にも取り組んできました。社会にプラスの変化を生み出すという私たちの取り組みは、LIXILで働くすべての従業員にとっての誇りとなり、LIXILのPurpose（存在意義）である『世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現』にもつながると考えています」

## コーポレートガバナンスの強化

2020年12月、持株会社であった旧LIXILグループ株式会社と、その100%子会社であった株式会社LIXILとの合併が完了し、LIXILは、持株会社体制から事業会社として運営する体制に移行しました。これにより、経営の簡素化と透明性の向上を図るとともに、意思決定の迅速化とコーポレートガバナンスの強化を実現しました。さらに、より強固で持続可能なガバナンスシステムを構築するための重要施策の一つとして、指名委員会によるCEO後継者計画が策定されました。

## すべてのステークホルダーに対する人権保護の徹底

LIXILでは、部門横断のメンバーで構成される「LIXIL人権デューディリジェンス・タスクフォース」を設置し、人権リスクの管理や適切な対応、説明責任を果たすことができるよう、透明性の高いガバナンスシステムを構築しています。タスクフォースでは、人権リスク評価を行い、潜在的なリスクを低減するために、7つのLIXIL重要人権課題<sup>※2</sup>を特定しています。さらに、タスクフォースのリーダーとして、Chief Legal and Compliance Officerの君嶋祥子を新たに任命し、法務・コンプライアンスと人権問題を統括しています。また、LIXILは、従業員、お客様、サプライヤーを含むビジネスパートナーなど、すべてのステークホルダーの権利を守るために、[人権方針](#)の内容を常に精査し、改善しています。

## D&Iの推進による機会の拡大

LIXILが持続的な成長を遂げ、存在意義の実現につなげていくためには、真の意味で、顧客志向の組織になることが重要です。LIXILは、2020年にCEOの瀬戸欣哉を委員長とするD&I委員会を設置し、2021年4月には全社におけるD&I戦略および2030年までに達成を目指す目標を更新し、競争力強化に向けてインクルージョン文化の醸成に注力しています。全社におけるD&I戦略として、取締役・執行役員の男女比を均等にし、管理職の女性比率を30%まで高めることを目標にしています。また、日本では、今年度初めて達成した定期大卒新入社員の男女比の均等を今後も維持するなど、地域別の目標も設定しています。

## 持続可能な地球環境と社会の実現に向けた取り組み

LIXILが掲げる[環境ビジョン2050「Zero Carbon and Circular Living \(CO2ゼロと循環型の暮らし\)」](#)は、事業プロセスや製品・サービスにおけるCO2排出量を実質ゼロにし、水の恩恵と限りある資源を次世代につなげるための包括的なアプローチを示したものです。全社で原材料の調達から廃棄に至るまで、すべての工程における環境負荷の低減に向けた取り組みを推進し、循環型経済（サーキュラー・エコノミー）の実現に貢献しています。昨年は、地球環境への負荷が低い部品・原材料を調達するための方針、基準を示した「[グリーン調達ガイドライン](#)」を制定し、取引先との協働を通じて環境に配慮した調達活動を強化しています。また、プラスチックをはじめとする資源の持続性を追求し、環境負荷を低減した製品設計や、使用後の循環利用が可能なプロセスを構築するため、全社共通の「[LIXILプラスチック行動宣言](#)」を発表しました。さらに、GROHEブランドでは、製品設計や事業プロセスも含め、製品ライフサイクル全体を通して持続可能性と循環型のシステムを取り入れ、Cradle-to-Cladle認証を取得した製品を発売しました。

LIXILでは、グローバルな衛生課題の解決に向けた取り組みも加速させています。これまでに簡易式トイレシステム「SATO」を38カ国以上に510万台<sup>※3</sup>出荷しました。ソーシャルビジネスであるSATOを通じて、最も必要としている多くのコミュニティに届けることを目指しています。さらに、2020年、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な感染拡大が発生した直後に、家庭で基本的な手洗い設備を持たない人びとのために安価な手洗いステーション「SATO Tap」を開発し、インドでの生産を開始しました。LIXILは、このソリューションを必要としている多くの人びとに届けるため、SATO Tapの生産

能力をアフリカにも拡大し、ユニセフなどのパートナーと協力を図りながら、世界中で持続的な衛生習慣の普及を促進しています。

LIXIL のサステナビリティやコーポレートガバナンスの取り組みについてはこちらをご覧ください。

<https://www.lixil.com/jp/sustainability/>

※1 FTSE Blossom Japan Index は、ESG（環境、社会、ガバナンス）について優れた対応を実践している日本企業のパフォーマンスを測定するために設計された指数です。業種の比率が日本の株式市場と同等になるように構築され、銘柄の組み入れは国連の持続可能な開発目標（SDGs）を含む既存の国際基準を基に作成されたルールに基づきます。

※2 LIXIL の人権重要分野: 均等な機会の提供および差別の禁止、強制労働および児童労働の禁止、結社の自由および団体交渉権の尊重、適正な賃金の支払いおよび労働時間の管理、職場における健康と安全の確保、ハラスメントの禁止、適法、公正かつ、透明性のある個人情報の取得と取り扱い

※3 2021年7月時点。出荷した簡易式トイレシステム SATO に対し、1台あたり平均5人のユーザーがいると仮定して算出。

FTSE Russell (the trading name of FTSE International Limited and Frank Russell Company) confirms that The LIXIL Corporation has been independently assessed according to the FTSE4Good criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE4Good Index. Created by the global index provider FTSE Russell, the FTSE4Good Index Series is designed to measure the performance of companies demonstrating strong Environmental, Social and Governance (ESG) practices. The FTSE4Good indices are used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products.

The inclusion of LIXIL Corporation in any MSCI Index, and the use of MSCI logos, trademarks, service marks or index names herein, do not constitute a sponsorship, endorsement or promotion of LIXIL Corporation by MSCI or any of its affiliates. The MSCI indexes are the exclusive property of MSCI. MSCI and the MSCI index names and logos are trademarks or service marks of MSCI or its affiliates.

## About LIXIL

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 55,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社 LIXIL（証券コード: 5938）は、2021年3月期に 1兆 3,783 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL グローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>